

順位	質問者（方式）	質問事項・要旨	答弁を求める者
	<p>2番 伊藤勝美 (一問一答)</p>	<p>は、安全で快適に暮らせるまちづくりにするため、自然環境保全に関する意識啓発と保全活動を支援し、水源環境の保全と白石川流域の一体的な環境保全対策を推進するとうたわれています。</p> <p>また現在、平成21年3月に策定された「白石市環境基本計画」に基づき、「水の音と緑の回廊のまちしろいし」の実現に向けて取り組んでいるところです。</p> <p>本市では、市民と行政のパートナーシップにより快適な生活環境を保全していくため、春と秋の年2回、全地域で一斉に住居周辺の道路等の清掃を実施し、清潔で美しいまちづくりを推進する「市内一斉クリーン作戦」などを行なっています。</p> <p>また、白石市環境美化活動支援において清掃活動を行う団体や、ホタルの飛ぶ環境と憩いの場の創造を図るとする団体への支援などを行うなど、河川の美化、環境保全のための様々な具体的活動及び意識啓発活動を実施されております。</p> <p>本市は、白石川を初めとした数多くの河川と水路に恵まれて、貴重な水資源として身近に接してはいるものの、水質、景観、周辺の環境整備等、様々な面でまだまだ満足できる状態とは言えないのではないのでしょうか。</p> <p>特に、市内には何本かの小河川がありますが、複数の小河川においては、雑草が繁茂して見苦しくなっているばかりでなく、空瓶、空き缶、自転車などの投げ捨てもあり、土手や川岸には発泡スチロール、ビニール袋、空き缶やペットボトルなどが引っかかっていたり、その他のあらゆるごみが投棄されていたりして、見た目にも不快感があります。小川がさらさら流れるどころではなく、ごみの捨場となっている感じがする河川も見受けられ、小河川の環境はまだまだといわざるを得ません。</p> <p>そこで、以下について質問をします。</p> <p>①本市にある河川・水路について、本市が管理する河川・水路と宮城県が管理する河川・水路の割合はどのような割合でしょうか。</p> <p>②本市が管理する河川・水路の清掃、維持管理は計画的に行われているのでしょうか。具体的にはどのような作業を行っているのでしょうか。</p> <p>③本市が管理する河川・水路の清掃、維持管理に関して市民及び自治会等から具体的な要望等はあるのでしょうか。それに対し、どのように対応されたのでしょうか。過去5年間についてお示しください。</p> <p>④宮城県が管理する河川・水路の清掃、維持管理に関してその計画実施について、本市から具体的な要望、意見具申等を行っているのでしょうか。</p> <p>⑤宮城県が管理する河川・水路の清掃、維持管理に関して市民及び自治会等から具体的な要望はあるのでしょうか。それに対しどのように対応されたのでしょうか。過去5年間についてお示しください。</p>	

順位	質問者（方式）	質問事項・要旨	答弁を求める者
3	4番 管野 恭子 (一問一答)	<p>1. 市営住宅賃貸借契約に伴う連帯保証人について 本市は市営住宅の借入につき、2名の連帯保証人を立てる事になっているが、昨今の社会状況から引き受け困難な場合も多く、借入希望者の大きな負担になっている。 そこで、次の2点を検討すべきと考えるが見解を伺う。 (1) 連帯保証人は1名とする。 (2) 連帯保証人は保証会社でもよい。</p> <p>2. 期日前投票の宣誓書について 期日前投票人数が増加の傾向にある今日、その利便性を高めようと、投票所入場整理券の裏面に「期日前投票宣誓書」を印刷し有権者に郵送する自治体が多くなっている。事前に記入することで投票所での必要書類に書き込む負担が少なく実施自治体では好評と聞いている。投票所受付での混雑緩和にも通ずるが、本市も実施を検討すべきではないか。</p> <p>3. 救急医療情報キット配布事業について ①平成23年12月16日からスタートした標記事業の現状について伺う。 ②対象者が限定されているが、対象者以外でも必要とする声も聞くが、対象者の拡大を図っていくべきと考えるが伺う。</p> <p>4. レアメタル等の回収・リサイクルの取り組みについて 標記の件は、平成24年12月第402回定例会で一般質問しているが、その際の「今後この情報収集を図って対応してまいりたい」との市長答弁をいただいているが、その後の進展状況について伺う。</p>	市長 市長 市長 市長
4	13番 山田 裕一 (一問一答)	<p>1. メガソーラーの積極的誘致について 県内自治体でもメガソーラー誘致の動きが積極的にあるが、当市においてもメガソーラーの候補地が多数あると認識している。 宮城県のホームページにもメガソーラーの候補地として、当市（県の所有地）が紹介されていることから、当市においてメガソーラー誘致に積極的な施策やオリジナルな優遇制度などを検討してはいかがか。市長の所見を伺う。</p> <p>2. 小中学校の教員用パソコンの貸与とネットワークの構築について 平成23年3月、第391回白石市議会定例会一般質問で、教員用パソコン購入についての質問をさせていただいているが、当市は、現在も教員用パソコンの整備は一向に進んでいない。 仙南2市7町を調査しても当市以外の1市7町では、すでに全小中学校職員室に導入済みである。つまり、各自治体からのパソコン貸与があるため、ネットワーク構築もなされているし、インターネット接続も容易にできる。</p>	市長 市長 教育長

順位	質問者（方式）	質問事項・要旨	答弁を求める者
	13番 山田裕一 (一問一答)	<p>先生方の職場環境の充実、つまりこれまで以上の仕事の効率化によって、子供と向き合う時間が増え、結果的に教育環境の充実に直結すると考える。よって、教員用パソコン整備を早急に行うことが必要と考えるが教育長の所見を伺う。</p> <p>3. 子宮頸がんワクチン予防接種の副反応について</p> <p>平成25年度から定期接種になった子宮頸がんのワクチン2種について、平成21年12月のワクチン販売時から本年3月末までに医療機関から1196件の副反応報告があったことが本年5月16日の厚生労働省厚生科学審議会部会で報告された。このうち死亡や障害が起きるなどの重い副反応は106件だった。子宮頸がんの予防接種をめぐることは、ワクチン接種後に重い健康被害に苦しむ中高生がいるとして「全国子宮頸がんワクチン被害者連絡会」が設立され、接種中止を求める嘆願書が厚生労働省に提出されている。これらのことから行政として、子宮頸がんワクチン予防接種を受けさせる保護者に対して、副反応についての情報開示が必要と考えるが、市長の所見を伺う。</p>	市長
5	8番 佐久間儀郎 (一括質問一括答弁)	<p>1. 行政情報のバックアップ体制について</p> <p>あの東日本大震災から、まる2年3ヵ月経過し、これまで多くの反省が語られ、検証によって私たちは多くの教訓を獲得してきました。自然相手に完全に災害をなくすことは不可能なことでしょうが、経験的にかつ科学的知見によって災害を予測し、未然の防災を工夫し、被害を最小限にとどめることは出来ます。やはり減災をしていくことが最善の対策でありましょう。</p> <p>そのひとつ、東日本大震災のように災害等で役所、役場が機能を失った場合、直後の災害対策だけではなく、戸籍や住民登録等、行政の基本となる重要な情報の復旧には非常に困難さを伴うことが明らかとなりました。つまり、この教訓をもって、津波被害に遭った宮城県や岩手県の多くの沿岸部自治体だけではなく内陸部の多くの自治体でも住民基本台帳や税務などの重要な情報のバックアップ体制整備を積極的に構築しています。いわゆる自治体クラウドの活用です。これは、そして基礎自治体としての行政責任であると最近盛んに報道もされています。仙南圏域では、震災前から名取市が、震災以降には、岩沼市そして隣接する角田市や大河原町などが既に利用しております。</p> <p>本市においても、万一、庁舎が被災しても業務継続が可能になるようクラウドを活用して災害時の情報喪失を避ける手立てが必要であります。自前の電算システム以外に別系統で情報管理していくシステムを置くべきでしょう。災害に備えて、複数の場所にバックアップを置くことが必要です。危険分散の考え方。</p> <p>このことについては、同僚の山田裕一議員、また菅野恭子議員が既に当局に提言をしておりますので、執行部局では十分に検討されていると推測しますが、</p>	市長

順位	質問者（方式）	質問事項・要旨	答弁を求める者
	<p>8番 佐久間 儀 郎 (一括質問一括 答弁)</p>	<p>4. 生涯スポーツの振興について 風間市政は第5次白石市総合計画で「人・暮らし・環境が活きる交流拠点都市づくり」を戦略テーマとして、5つの目標を掲げています。目標の一つ「豊かな感性と人間性を育み、伝統文化を継承するまち」のうち：生涯学習の推進については、生涯学習フェスティバルの開催やふるさとスポーツ祭などの各種スポーツ大会を通じて、市民の生涯学習意識の醸成につとめるとされ、「『白石市スポーツ振興計画』に基づき市民が「だれでも、いつでも、どこでも、いつまでも」スポーツに親しむことができるように、スポーツの普及・振興を図ります」と目標を定めています。これと同じ表現が教育委員会の方針の中の、社会教育の充実の箇所にあります。「総合型地域スポーツクラブの創設に向けた組織づくりと指導者の育成に努めるとともに、各種イベント・教室等を開催し、「だれでも・いつでも・どこでも・いつまでも」気軽に楽しめる各種スポーツの普及に努める」と具体的に取り組みを掲げています。</p> <p>私は、心身の発達、健康の維持・増進、そして地域活性化には大きな役割を果たすスポーツ活動を積極的に推進していくことが本市にとって重要であると考えています。</p> <p>①生涯スポーツに対する思い、その振興策について市長の所信を伺います。</p> <p>②高原マラソンの実績からみても交流人口増、活性化にスポーツの果たす役割は大です。スポーツをキーワードにした交流拠点都市を形成していく方向付けもあってよいのではないのでしょうか。</p> <p>③市内のスポーツ人口の実態をどう捉えているのでしょうか。拡大傾向、縮小しているのでしょうか。</p> <p>④「白石市スポーツ振興計画」策定の作業現状をお知らせください。</p> <p>⑤体育協会を中心とするスポーツ団体、指導者の育成はどのようになされているのでしょうか。</p> <p>⑥「総合型地域スポーツクラブ」の創設に向けた組織作りと指導者の育成状況はどうなっているのでしょうか。クラブ創設年度目標はどのようにたてられているのでしょうか。</p>	<p>市 長 教 育 長</p>
6	<p>10番 四 竈 英 夫 (一括質問一括 答弁)</p>	<p>1. 新たな道路施設の誘致について ①高速道スマートICの誘致について 東北自動車道に接続する簡易型インターチェンジ（スマートインターチェンジ）の誘致について取り組むお考えがないかお伺いいたします。</p> <p>東北自動車道は本市にとって、物流・観光などの面で重要かつ不可欠な交通の大動脈であります。</p> <p>しかし、白石インターチェンジが深谷にあるため、東京方面からの観光バスは本市を素通りして、仙台方面に向かう傾向にあります。つまり、深谷で降りて白</p>	<p>市 長</p>

順位	質問者（方式）	質問事項・要旨	答弁を求める者
	<p>10番 四 籠 英 夫 (一括質問一括 答弁)</p>	<p>石市内に逆戻りすることが煩わしいという心理が働くためと思われます。数多くの観光地を擁しながらそれを十分に活かすきれないとしたら残念なことであります。よって、大平地区周辺にスマートICを誘致し、観光・産業経済の更なる活性化を図ることは大きなメリットであると思いますが、誘致に向け取り組むお考えがないかお伺いいたします。</p> <p>②深谷地区と郡山地区を結ぶ橋梁の建設誘致について 現在白石川に架かっている橋は、蔵王町宮の橋と白石大橋のみで、この間に架かる橋はありません。本市郡山地区には、かつて大型工場が操業をしており、重要な工場地帯でありました。</p> <p>しかし、これらの工場は相次いで撤退し、広大な工場跡地が広がっている光景を見るにつけ、誠に残念に思います。撤退の理由は分かりませんが、もしこれらの工場地帯と対岸を結ぶ橋があれば、交通と物流等の面で貢献できたのではないかと思います。いずれにしても、深谷のインターチェンジ・工業団地と本市を直結する橋は、是非とも必要なものと思われます。</p> <p>産業経済のみならず市民生活にも大きなメリットをもたらすものと思います。簡単に実現するものではないと思いますが、将来の展望として掲げ、誘致の実現に向け、取り組まれるお考えがないかお伺いいたします。</p>	